地學雜誌

JOURNAL
OF
GEOGRAPHY

東京地学協会

TOKYO GEOGRAPHICAL SOCIETY
Founded in 1879

1998 VOL. 107

NO.

2

表紙写真

オルドイニョ・レンガイ火山のカーボナタイト溶岩流 Carbonatite Lava Flow of Oldoinyo Lengai, Tanzania

オルドイニョ・レンガイ火山（標高 2,890m）はタンザニア北部にある成層火山で、世界で唯一カーボナタイトの噴火を続けている火山として有名である。表紙は 1997 年 10 月 16 日、北火口内で流動中のカーボナタイト溶岩を撮影した写真である。カーボナタイト溶岩は、低温（500-590℃）であるために流動中でも黒色で、固結後数時間経つと暗灰色に、さらに時間が経つと灰白色になる。この写真でも流動中の部分が黒色であることがわかる。火口から遠く離れた末端では珪酸塩溶岩のようなアア溶岩となることが多いが、厚さはわずか 20cm しかなく、珪酸塩溶岩のアクリンカーに特徴的なとげもない。写真遠景には、スパッターリングによってできた尖塔群が見えている。

（撮影・解説：白尾元理 Motomaro SHIRAO）